



1-218163

Cited Reference No.16 in PCT/IPEA/409

Laid-open Patent Application No. 1-218163 laid open on August 31, 1989

Patent Application No. 63-43487 filed on February 25, 1988

Applicant: Kabushiki Kaisha Ricoh

Inventor: Makoto Tsuji

Title: Facsimile Terminal Equipment

Claim:

1. Facsimile terminal equipment 1 being connectable to the channel of Nihon Denshin Denwa Kaisha or other subscribed channel,

having dial memory for storing addressee telephone numbers corresponding to depression of keys 4b of an operating part 4,

displaying said addressee telephone number on a display part 4e in response to operation of keys 4b of the operating part 4, and

automatically calling via said telephone number in response to a specified key input, in which

access number memory 14 for storing the access number of said subscribed channel is provided,

when said keys 4b are operated, the access number is read from said access number memory 14 corresponding to the times of operation, and

in addition to the telephone number read from said dial memory, the access number is displayed on a display part 4e such that these numbers can be called for.

Other reference numerals in drawing figures:

4c...start key, 11...system control part

⑤ 日本国特許庁(JP) ⑩ 特許出願公開  
 ⑥ 公開特許公報(A) 平1-218163  
 ⑨ Int.Cl.<sup>4</sup> 識別記号 庁内整理番号 ④ 公開 平成1年(1989)8月31日  
 H 04 N 1/00 1 0 6 B-7334-5C  
 H 04 M 1/274 6914-5K  
 H 04 N 1/32 L-6940-5C 審査請求 未請求 請求項の数 1 (全5頁)

## ⑧ 発明の名称 ファクシミリ装置

② 特 願 昭63-43487  
 ③ 出 願 昭63(1988)2月25日  
 ⑦ 発 明 者 城 東京都大田区中郷込1丁目3番6号 株式会社リコー内  
 ⑧ 出 願 人 株式会社リコー 東京都大田区中郷込1丁目3番6号  
 ⑨ 代 理 人 弁理士 有我 軍一郎

部に表示する。その後、スタート・キーを操作することにより、後表示中の宛先に自動発呼させることができ、送信時のダイヤル操作の便宜性や作業者が向上され、また、オペレータは表示部に表示される宛先名称により送信先を確認することができ、

(発明が解決しようとする課題)

しかしながら、このような従来のファクシミリ装置にあっては、1つのワンタッチ・キーについて1つの電話番号しか登録できないため、登録に際し、1つの回線を特定しなければならなかった。したがって、ある送信先にワンタッチ・キーで複数の回線から最適な回線を選択して送信しようとする、1つの送信先に対して各回線毎に1つのワンタッチ・キーを使用して登録しなければならず、従来と同じ数のワンタッチ・キーで登録しようとする、登録できる送信先の数が大幅に減少してしまう、登録できる送信先の数を増やそうと、ワンタッチ・キーの数が大幅に増加すること、その結果、ワンタッチ・キーの使用上の便宜性が悪化するという問題があった。

ところが、近時、日本電信電話株式会社(以下、NTTと略す)のファクシミリ網や新電電各社(以下、NCCと略す)と称し、第2電電、日本高速通信網および日本テレコム網の回線が利用できるようになり、利用できる回線が増加した。

そこで、本発明は、ワンタッチ・キーに対応して送信先の電話番号を登録するとともに、利用できる回線のアクセス番号をメモリに記憶させ、ワンタッチ・キーの操作回数に対応してメモリからアクセス番号を読み出し、電話番号に付加して表示部に表示することにより、1つのワンタッチ・キーの操作で、希望する回線を選択できるようなして、登録できる送信先の数を減らすことなく、また、ワンタッチ・キーの数を増加させることなく、ワンタッチ・キーの操作性と便宜性を向上させることを目的としている。

(発明の構成)

本発明は、上記目的を達成するため、日本電信電話会社の回線の他に契約により使用可能な回線に接続可能で、操作部のワンタッチ・キーに対応して送信先電話番号を記憶するダイヤルメモリを有し、操作部のワンタッチ・キーの操作により宛先に送信先電話番号を表示し、所定のキー入力により該電話番号に従って自動発呼するファクシミリ装置において、前記契約により使用可能な

回線のアクセス番号を記憶するアクセス番号メモリを設け、前記ワンタッチ・キーが操作されたとき、その操作回数に対応してアクセス番号メモリよりアクセス番号を読み出し、前記ダイヤルメモリから読み出した電話番号にアクセス番号を付加して表示部に表示し、発呼可能とすることを特徴とするものである。

以下、本発明の実施例に基づいて具体的に説明する。

第1図～第5図は本発明の一実施例を示している。

第1図において、1はファクシミリ装置であり、ファクシミリ装置1は、本体2、本体2上部に設けられた回線の接続される接続台3、操作部4およびハンドセット5を備えている。操作部4には、ワンタッチ・キー6、ワンタッチ・ダイヤル・キー(ワンタッチ・キー)7、スタート・キー8、セクタ・キー9、他のコマンドを入力する操作キー10および入カコマンドやファクシミリ装置1からオペレータへ伝達する情報を表示する表示部11を備えている。

本発明はファクシミリ装置に關し、詳細には、ワンタッチ・ダイヤルによる自動発呼機能を備えたファクシミリ装置に關する。

(従来の技術)

近時、ファクシミリ装置は、その普及に伴って、ダイヤル操作の便宜性と作業性の向上のために、いわゆるワンタッチ・ダイヤルによる自動発呼機能を備えるようになってきた。

このようなワンタッチ・ダイヤルによる自動発呼機能を利用するには、あらかじめオペレータがワンタッチナンバーに対応させた宛先電話番号をファクシミリ装置の操作部から入力してメモリに記憶させる。このとき、一般に宛先名称が一緒に入力され、ワンタッチナンバーに対応して宛先電話番号および宛先名称がメモリに記憶される。

送信時、オペレータが送信したい宛先に対応するワンタッチナンバーを操作部のワンタッチ・キーの操作により入力すると、ファクシミリ装置はメモリから該ナンバーに対応する宛先の電話番号を読み出して宛先名称とともに操作部の表示

日本電信電話会社の回線の他に契約により使用可能な回線に接続可能で、操作部のワンタッチ・キーに対応して送信先電話番号を記憶するダイヤルメモリを有し、操作部のワンタッチ・キーの操作により表示部に送信先電話番号を表示し、所定のキー入力により該電話番号に従って自動発呼するファクシミリ装置において、前記契約により使用可能な回線のアクセス番号を記憶するアクセス番号メモリを設け、前記ワンタッチ・キーが操作されたとき、その操作回数に対応してアクセス番号メモリよりアクセス番号を読み出し、前記ダイヤルメモリから読み出した電話番号にアクセス番号を付加して表示部に表示し、発呼可能とすることを特徴とするファクシミリ装置。

3. 発明の詳細な説明

(装置上の利用分)

おり、ハンドセット5は本体2に設けられた設置台5aにセットされている。

ファクシミリ装置1は、第2図に示すように、システム制御部11、システムメモリ12、ダイヤルメモリ13、アクセス番号メモリ14、送信制御部15、モデム16、編組制御部17、画面メモリ18、符号化・復号化部19、プロセッサ20、スキャナ21および操作部4を備えている。

システム制御部11は各部を制御してファクシミリ装置1としてのシーケンスを実行するとともに、本発明のワンタッチ・キー4による電話番号表示、回線選択処理および自動発呼処理プログラムを実行する。システムメモリ12には上記ファクシミリ装置としての基本プログラムおよび本発明の電話番号表示、回線選択処理および自動発呼処理プログラムが格納されるとともに、ワークエリアが形成される。

ダイヤルメモリ13には、第3図に示すように、それぞれのワンタッチ・キー4に付与されているワンタッチナンバ（第3図中左側の欄）に表

一方、ファクシミリ装置1は、受信時、回線から入力された画面情報（電話番号）をモデム16で復調し、画面メモリ18に蓄積する。画面メモリ18に蓄積された画面情報は、即時に、あるいは所定時間（符号化）された後、プロセッサ20でデコード（復号化）された後、プロセッサ20に送られる。プロセッサ20に送られた画面情報はプロセッサ20により記憶部に記憶される。

次に、作用を説明する。  
本発明は送信時、ワンタッチ・キー4の操作により自動送信する場合の処理にその特徴がある。以下、この送信時の処理について説明する。

送信時、オペレータは画面を画面台3にセットし、画面制御部をワンタッチ・キー4aや操作部4dで入力した後、送信先の電話番号を操作部4のワンタッチ・キー4bを押すことにより入力する。この場合、当該送信先の電話番号の登録されているワンタッチ・キー4bを押すと、システム制御部11はそのワンタッチ・キー4bのワンタッチナンバに基いてダイヤルメモリ13から該当する電

示されているナンバ（一）に対応させて送信先の電話番号（市外局番を含む）が登録されており、また、電話番号の登録された各ワンタッチナンバ一に対しては送話するアクセス番号の登録番号がフラグ（第3図中右側の欄）に登録される。

アクセス番号メモリ14には、第4図に示すように、本ファクシミリ装置1が利用できるNTTのファクシミリ装置のアクセス番号やNCC各社のアクセス番号が登録番号（第4図中左側の欄）毎に登録されており、前記ダイヤルメモリ13のフラグ欄の登録番号がこの左側の登録番号である。

ファクシミリ装置1は、送信時には、画面を画面台3にセットされた画面情報をスキャナ21で先端ペーリから走査して画面情報を取り、符号化・復号化部19に送って符号化・復号化部19でデコード化する。コード化された画面情報は、蓄積モードでは、画面メモリ18に蓄積した後、所定の時間に送信し、即時モードでは、コード化されるとともに、送信制御部15を介してモデム16に送られて復調された後、編組制御部17を介して回線に送出される。

電話番号を読み出して表示部4aに表示する（第5図（a）参照）。ワンタッチ・キー4bを1回押すと、まず、ダイヤルメモリ13に登録されたNTT回線による電話番号のみが表示され、オペレータはNTT回線を使用せず、他の契約回線を利用しようと思つと、画面ワンタッチ・キー4bを押す。ワンタッチ・キー4bが2回押されると、システム制御部11は当該ワンタッチ・キー4bのワンタッチナンバのフラグの登録番号を読み出し、アクセス番号メモリ14から該登録番号のアクセス番号を読み出す。例えば、いまワンタッチナンバ「01」のワンタッチ・キー4bが2回押されたとして、このワンタッチナンバのフラグの登録番号は第3図より「2」である。したがって、システム制御部11はアクセス番号メモリ14に登録番号「2」のアクセス番号「0077」を読み出す。読み出したアクセス番号を前に読み出してシステムメモリ12に格納してある電話番号の前に付加し、表示部4aに表示する（第5図（b）参照）。オペレータは表示されたアクセス番号の回線を利用

に読み出して表示部4aに表示する。

このように、1つのワンタッチ・キー4bに対して1つの送信先の電話番号を割り当てることで、アクセス番号メモリ14から前回読み出したアクセス番号以外のアクセス番号を登録番号の早い順に読み出し、同様に電話番号の前に付加して表示部4aに表示する（第5図（c）参照）。以後、順次、ワンタッチ・キー4bを押す度に、登録番号の早い順にアクセス番号を読み出し、電話番号の前に付加して表示部4aに表示する。

オペレータは表示部4aに表示されたアクセス番号の回線を利用して送話するときには、スタート・キー4cを押す。システム制御部11はスタート・キー4cが押されると、表示部4aに表示中の番号（アクセス番号と電話番号）に従って発呼するとともに、選定したアクセス番号の登録番号をダイヤルメモリ13のフラグ欄に登録する。次に、同じスタート・キー4cが2回押されると、システム制御部11はこの選定された登録された登録番号のアクセス番号をアクセス番号メモリ14から最初

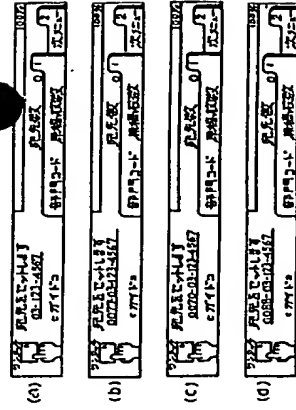
（効果）

本発明によれば、1つのワンタッチ・キー4の操作で、利用可能な複数種類の回線から希望する回線を選択することができ、登録される送信先の電話番号を減らすことなく、また、ワンタッチ・キー4の登録

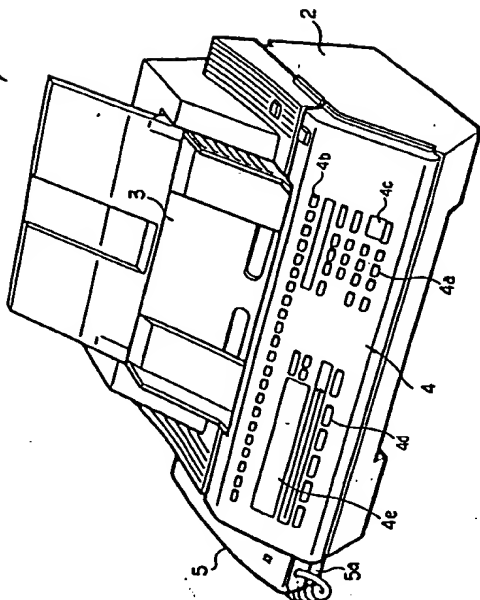
第4図

1	0070-
2	0077-
3	0088-
4	161-

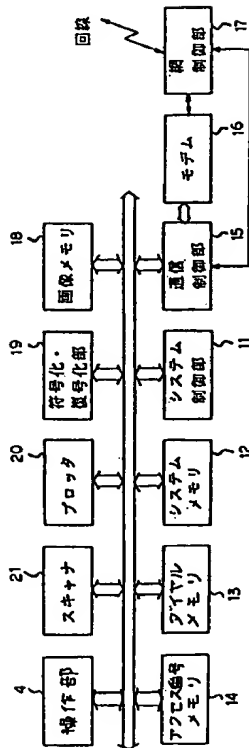
第5図



第 1 図



第 2 図



第 3 図

No.	電話番号	フラグ
00	03-123-4567	1
01	06-890-1234	2
02	:	: